

ARENA 英作についての留意点

1. 英作の採点はたいてい、減点法でなされる。したがって目標としては、完全解答を目指すのではなく、なるべく減点を少なくするという目標をすること。
2. 減点の対象となるのは、主に以下の点であるので、注意すること。
 - 文や句を構成する上での文法的なミス。構文や句が結びつかない場合など。
 - 動詞の語法上のミス。動詞が一文の形式を決定するので、日頃から動詞の語法には習熟しておく必要がある。
 - 動詞を中核にした時制・態・人称や数の一致のミス。
 - 文法・語法上のミスがなくとも、与えられた日本文の意味とズレている場合。
 - 日本文に存在する意味が英文に欠落している場合。
 - 内容語（動詞、名詞、形容詞、副詞）の選択が意味上、あるいは文脈上、妥当でない場合。

(例) 辞書を引く ~~draw~~ (→ consult, refer to) a dictionary
彼女は明るい She is ~~bright~~. (→ cheerful)
 - 名詞や代名詞の単数・複数の識別ミス。
 - 冠詞の有無、および定冠詞と不定冠詞の識別ミス。
3. 与えられた日本文に相当する英語の表現や語句が思いつかない場合などは、日本語自体を別の表現に噛み砕いて代えてみる。その場合、前後の文脈に合致しているか、意味内容が大きく変わってないかをチェックする。

(例) すねをかじる → 親に頼る (比喩的な表現の場合)
どういわけか → 何らかの理由で → なぜかわからないが
(代理表現の場合)
4. 日頃から英文を読むときや語彙を覚える際などに、自分の英語表現力に磨きをかけるつもりで表現形式や構文、単語、熟語をマスターし、それらの知識が実際に使えるように心がけること。

ARENA 英作トレーニング

◎次の日本文の下線部を英語に訳せ。

1. 話題というものは、その場その場に適するものがあるはずで、それをうまく見つけることが大切である。 それにはまず話題を豊富に用意していなければならない。

.....
.....
.....
.....

2. 自分の家をよく知るためには、家の外からそれを眺めてみる必要がある。これは外国に行ってみてはじめて、日本のことがよく分かるようなものである。誰しも幼い頃に親類に遊びに行き、自分の家では当然と思われていることが、実は他の家ではそうでないことを知って驚いた思い出をもっていることであろう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

3. この20年くらいの間に、われわれは通信手段として電話というものをやたらに使うようになった。とりわけ若い人たちは、手紙を書く習慣をいつの間にかほとんど完全に忘れ去り、たいていの用事は電話で済ませてしまうようだ。

.....
.....
.....
.....
.....
.....